

環 指 第 3 6 9 号
平成 2 9 年 6 月 2 3 日

大阪府知事 松井 一郎 様

枚方市長 伏見 隆



枚方京田辺環境施設組合可燃ごみ広域処理施設整備事業に係る計画段階
環境配慮書に対する環境の保全の見地からの意見について（回答）

平素より本市環境行政にご指導・ご協力を賜り御礼申し上げます。

さて、平成 2 9 年 6 月 2 2 日付け環保第 1 4 8 4 号で照会のありました標記について、別紙のとおり意見を述べます。

〔連絡先〕

枚方市 環境部 環境指導課

事業所指導グループ 担当：大谷、前川

TEL 050-7102-6014（直通）

FAX 072-841-1315

E-MAIL kankyoushidou@city.hirakata.lg.jp

枚方京田辺環境施設組合可燃ごみ広域処理施設整備事業に係る計画段階
環境配慮書に対する環境の保全の見地からの意見について

計画段階環境配慮書における評価について、計画地盤高の比較にあたっては、発生土量の比較などの評価が行われ、概ね妥当であるが、今後、緑地の確保及び地盤の耐災性の面も含めて評価することが望ましい。また、煙突高さの比較にあたっては、大気質の影響の寄与度や景観への配慮などの影響について評価が行われ、概ね妥当であるが、今後、大気濃度の面からはプラント性能、眺望の面からは近景も含めた上で評価することが望ましい。

以上の点に留意して、事業計画案を決定いただくとともに、今後の環境影響評価方法書以降の手続きにおいては、環境影響評価審査会から出された、次に示す事項についても留意されたい。

1. 総括的事項

ごみの搬入経路が変更されることで、輸送効率、渋滞の影響により騒音、温室効果ガスの観点からは、現状よりも環境負荷が大きくなると想定される。特に搬入車両から排出される温室効果ガスについては、より一層の環境負荷の低減を図れるよう検討すること。

2. 項目別事項

【大気質】

大気濃度の予測に関しては、近傍の新しいデータを活用するとともに、工事中についてはオフロード車からの排出ガスも考慮に入れること。また、供用後については事業計画地における季別・時間帯別の逆転層の出現頻度も考慮に入れること。

【騒音】

騒音の調査・予測地点に関しては、ごみ収集車の輸送経路を精査した上で選定すること。

【景観】

景観の調査に関しては、可視領域図を方法書以降の図書で明示し、住宅側における不特定多数が訪れる場所や307号沿道沿いなどの近景の地点も眺望点に加えるほか、国見山からの眺望については、明確に視認できる場所もあることから、再検討すること。また、環境保全対策として煙突の色彩などの煙突景観についても十分配慮すること。

【動植物】

動植物の調査については、京都側だけではなく大阪側のレッドデータブックも使うとともに、東部清掃工場の環境影響評価事後調査結果、東部スポーツ公園の環境影響評価の調査結果、枚方ふるさといきもの調査などの最新のものを活用すること。また、環境保全対策として建設には細心に注意を払い、建設後もグリーンベルトが確保できるよう配慮すること。

【地球環境】

温室効果ガスの予測に関しては、交通量の増加によるCO₂増加、ごみの削減によるCO₂減少の将来試算について今後の図書で明示するとともに、温室効果ガス削減の観点から、中継施設の必要性についても、今後検討を行うこと。

【その他の項目】

工事中の土砂搬出経路及び供用後のごみ収集車の搬入経路、並びに 307 号沿いの歩道の設置状況について調査を行い、今後の図書で明示すること。